



感染症防止対策

1.インフルエンザ発生動向

報告週・年月日			札幌市	全国	北海道
平成30年 ～31年	52週	12/24～12/30	39.80	11.17	32.07
	1週	12/31～1/6	16.48	16.30	33.57
	2週	1/7～1/13	32.05	38.54	37.30
	3週	1/14～1/20	26.00	53.91	33.11

全国的に猛威

1 定点医療機関あたりの患者数

調査が始まった1999年以降、最多となった昨季に迫っている



2.細菌とウイルスの違い

項目	細菌	ウイルス
大きさ	およそ0.5～3μm	およそ20～300nm
増える場所	適した環境 (体内・食品・河川等)	生きた細胞の中だけ (体内)
増え方	2分裂増殖	細胞の中で遺伝子とたん 白質を大量に作り、 多くの子孫ウイルスを 細胞外に放出
消毒薬	あり	あり
治療薬	あり	非常に少ない



ノロウイルス
(35～40nm)



インフルエンザ
ウイルス
(100nm)

大腸菌
(0.5 × 1～3μm)

1μm(マイクロメートル)=1,000分の1mm

1nm(ナノメートル)=1,000分の1μm

3.インフルエンザ感染防止対策

○感染経路を断つ

⇒飛沫感染・接触感染を防ぐ

- ・手洗いの実施
- ・マスクの着用～**マスクに触る癖のある人は要注意!**

マスクに付着しているウイルスを触ってしまうこととなります



○ワクチンの接種

⇒発症の可能性を低くし、発症しても重症化を防止

○適度な湿度を保持

⇒乾燥は発症のリスクが高まるので、部屋の湿度を加湿器などで**50～60%に調整**する



○人込みや繁華街への外出を控える

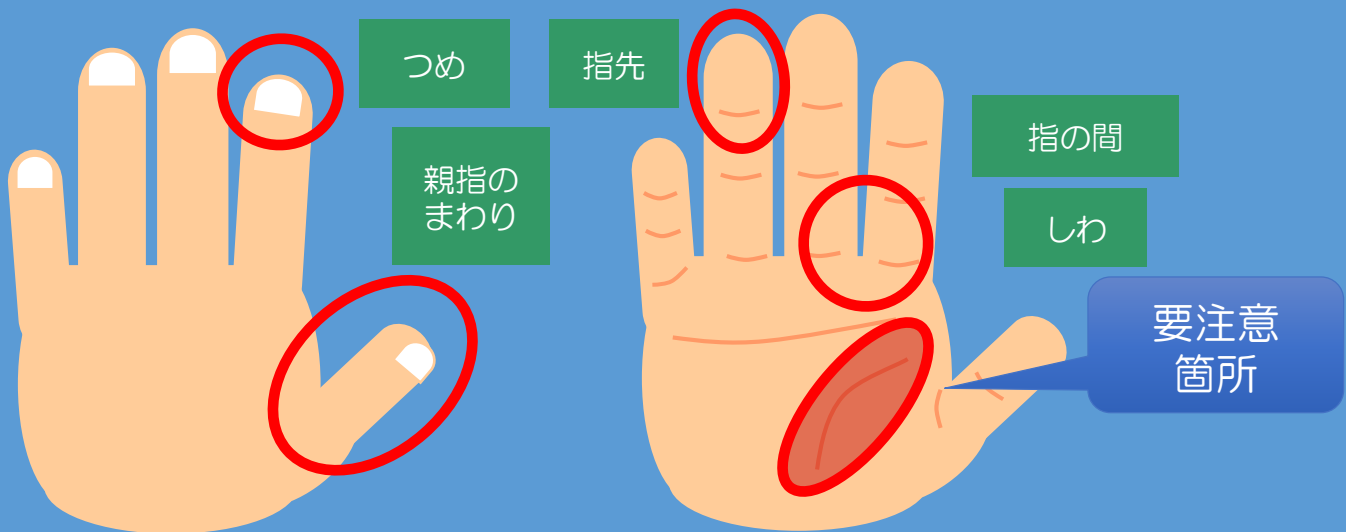
○免疫力を高める

⇒**十分な休養**と**バランスの取れた食事**



食中毒事故防止のためには特に手洗いが重要

ウイルスは大変小さいので手指に付着するとしわ、指紋、爪と皮膚の間に入り込んでいます



お気軽にお問い合わせ下さい!

株式会社エンバイロサービス

〒060-0005 札幌市中央区北5条西12丁目2 ヘルックス北5ビルA館2階

TEL: 011-242-8288 Email: info@enviro-svc.co.jp